



沖縄県立名護特別支援学校スクールポリシー

学校教育目標

幼児児童生徒一人一人の生活年齢を重視する教育及び発達段階や特性等に応じた教育を行うことにより、心身の調和的発達と身辺自立を促し、家庭生活及び社会生活に適応できる能力と態度を培い、可能な限り積極的に自立し、社会参加する人間を育成する。

- ① 健康で明るく、元気な人（健康）（健康で安全な生活を送るために必要な習慣や態度を育てる。）
- ② 自分のことは自分でする人（自立）（社会生活に必要な学習・生活上の基礎的な事項の確立を図る。）
- ③ 思いやりがあり仲良くする人（協力）（情操豊かな心を育てる。）
- ④ ねばり強く、喜んで働く人（勤労）（働く意欲とねばり強く最後までやりぬく態度を育てる。）
- ⑤ 自分で考えて行動する人（自律）（集団活動を通して社会生活への適応力を育てる。）

（1）グラディエーション・ポリシー（生徒育成を目指す資質・能力に関する方針）

- ① 健康で明るく素直で、体調管理ができる生徒
(職業生活に必要な体力をつけ、健康と衛生を自己管理する習慣や健全な態度を育てる。)
- ② 自分のことは自分で責任をもってできる生徒
(職業生活・社会生活に必要な基礎的知識と技能、および生活習慣の形成を図る。)
- ③ 自分の立場や相手の気持ちを考えながら、仲間と協力し、役割を果たそうとする生徒
(望ましい人間関係の確立を図り、適切な関わり方と協調性、情操豊かな心を養う。)
- ④ 勤労意欲を持ち、将来の夢に向かって頑張る生徒
(職業生活に必要な能力と態度を養い、勤労の意欲を高める。)
- ⑤ 自分で考え、責任を持って行動し、社会参加を目指す生徒
(集団活動に積極的に参加し、社会に適応する能力を育てる。)

（2）カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施に関する方針）

- ① 学校・高等部の教育目標を達成するために、生徒の実態に即して指導内容を精選し、具体的に組織立て、適切な指導形態を十分検討し、共通理解のもとに教育課程を編成する。
- ② 卒業後の社会参加がスムーズにできるよう、個別の教育支援計画・個別移行支援計画及び個別の指導計画を作成し、生徒一人一人のニーズに応じた支援・指導を進めるとともに、キャリア教育を通して、勤労観・職業観を身につけ、主体的に進路を選択・決定する力を培えるよう編成する。

（3）アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）

- ① 健康で明るく元気な人
- ② 自分のことは自分でできる人（身辺処理の確立と情緒の安定）
- ③ 友達と仲良くできる人（集団生活への適応性、望ましい人間関係）
- ④ ねばり強く、喜んで働く人
(社会生活に必要な基本的生活習慣、進んで働く意欲と最後までやり通す態度)
- ⑤ 規則正しい生活ができる人（日常生活に必要な基本的生活習慣）